

7. 猫の行動調査結果・・・5章

猫の生態を把握するために、新潟市西区U地区の地域猫2匹、新潟市西区N地区の地域猫2匹及び放し飼いの猫3匹、宮城県石巻市T島の地域猫の2匹の行動調査結果を示す。なお、GPSによる行動結果の図は動画にて示す。

行動範囲について

行動調査を行った猫の年齢別の行動範囲を示す。

地域猫	年齢	性別	手術	行動範囲	備考
地域猫	1歳未満	♂	済み	拠点となる場所から30m圏内	発情期時：最大行動半径280m
	1歳～2歳	♂	済み	拠点となる場所から100m圏内	
	2～3歳	♀	済み	拠点となる場所から220m圏内	
	8歳	♂	済み	拠点となる場所から120m圏内	
飼いかつ	5歳	♀	済み	拠点となる場所から70m圏内	
5歳	♂	済み	拠点となる場所から100m圏内		
8歳	♂	済み	拠点となる場所から100m圏内		
観光における地域猫	1歳	♂	済み	拠点となる場所から160m圏内	
2歳	♂	なし	拠点となる場所から400m圏内		

猫の行動範囲表

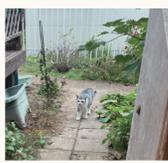


避妊去勢手術済みかつ明確な拠点のある飼いかつ猫のほうが行動範囲が狭い結果となった。手術と猫が帰る明確な場所があることで、動き回る必要がなくなり、行動範囲が狭くなったことが考えられる。地域猫も明確な居場所を作ることで、行動範囲が狭くなり、管理しやすくなることが考えられる。また、発情期を迎える中間期では、イレギュラー的に行動範囲が伸びることが確認された。

行動時間について

日付	時間	気温	湿度	天気	滞在場所	行動時間	滞在時間
10月6日	17:55~18:00	23.0℃	80%	晴れ	①寝床、畑、駐車場	17:55~21:25	3時間30分
	18:00~19:00	23.1℃	77%	曇り			
	19:00~20:00	23.3℃	81%	曇り			
	20:00~21:00	22.9℃	84%	曇り			
	21:00~22:00	23.1℃	84%	曇り	活動	21:25~21:45	
10月7日	0:00~1:00	21.6℃	89%	曇り			
	1:00~2:00	21.1℃	92%	曇り			
	2:00~3:00	21.2℃	92%	曇り			
	3:00~4:00	21.2℃	91%	曇り			
	4:00~5:00	21.0℃	93%	雨	①寝床、畑、駐車場	4:15~4:40	7時間45分
	5:00~6:00	20.5℃	95%	雨			
	6:00~7:00	20.4℃	96%	雨			
	7:00~8:00	20.8℃	94%	雨			
	8:00~9:00	20.8℃	97%	雨			
	9:00~10:00	21.2℃	96%	雨			
	10:00~11:00	20.7℃	94%	雨			
	11:00~12:00	22.2℃	82%	曇り			
	12:00~13:00	22.0℃	82%	曇り	②駐車場、腰壁	12:25~12:33	45分
13:00~14:00	20.2℃	87%	雨	①寝床、畑、駐車場	13:20~17:30	4時間以上	
14:00~15:00	18.7℃	94%	雨				
15:00~16:00	18.5℃	94%	雨				
16:00~17:00	18.5℃	94%	雨				
17:00~17:30	18.3℃	91%	雨				

猫U2の1日の時間別行動表



性別：♀
年齢：2～3歳程度
手術：あり

猫U2

夕方夜中～明け方に活動が活発になる薄明薄暮性の性質が見られた。

天気によって活動の制限が見られた。雨が降る前に餌やりさん宅へ戻る、天気を予測する行動が見られた。

猫の行動調査まとめ

- 成猫と子猫では、居場所が異なっていた。
- 猫には複数の拠点が確認された。
- 放し飼いの家猫と地域猫では、地域猫の方が行動範囲が広く、滞在場所が多く見られた。
- 夜中～朝方と夕方に活動が活発になる薄明薄暮性の性質は1歳を超えてから見られた。
- 天気や気温によっては行動制限が見られた。
- 雨が降る前は拠点となる餌やりさん宅に戻ったり、雨宿りできる場所に滞在が確認された。また、30℃以上の気温が高い日は、動くことなく同じ場所に長期滞在が確認された。
- 排泄行動の特徴として、食餌後1時間で給餌場所から30m圏内の畑や緑地などで排泄をしている様子が確認された。
- 外敵がおらず餌が十分に与えられている場合、人と同様の生活リズムで暮らしていた。
- 発情期には通常時とは異なるルートや行動範囲が伸びるといったイレギュラーな行動をしていた。

滞在要素について

行動調査結果を基に猫が滞在していた主な要素を表で示す。

写真	要素	エンリッチメント	行動	猫	その他
	日当たりの良い場所		日光浴、休息	子猫、成猫	
	人が通らない住宅間		縄張り監視、通路	子猫、成猫	
	畑		排泄、狩り	子猫、成猫	食餌後1時間後程度に訪れることが多い。給餌場所から30m圏内であると滞在しやすい。
	緑地		排泄、狩り、休息、雨宿り	子猫、成猫	
	駐車場		一時的な休息、縄張り監視	子猫、成猫	駐車場は見通しが良く、適度に車が駐車しており、身を隠せるため、猫にとって滞在しやすい。
	寝床		休息、身を隠す	子猫、成猫	主に餌やりさんが手作りで段ボールや木材、プラスチックケースなどを使い、床を敷いている。 W=400mm、H=300mm、D=300mm程度のサイズ感のものが設置されていた。子猫の滞在率が高い。
	腰壁		一時的な休息、通路、上下運動	子猫、成猫	H=900mm程度であると子猫も滞在が確認された。
	カーポート		一時的な休息、縄張り監視、雨宿り	子猫、成猫	雨が降っている時に滞在が確認されやすく、雨宿りをしていることが考えられる。
	砂地		排泄	子猫、成猫	柔らかく、猫が掘りやすい砂地において滞在が多く確認された。同時に糞尿被害が起きやすい場所である。
	空き家		休息、身を隠す	子猫、成猫	空き家は人が立ち入ることがないため、滞在しやすく、猫のたまり場になりやすいことが確認された。
	側溝		身を隠す	子猫	側溝サイズ：W=260mm、H=300mm
	空き地		狩り	成猫	
	屋根の上		日光浴、縄張り監視、上下関係を示す	成猫	縄張り意識がある成猫のみの滞在が確認された。
	塀の上		通路、縄張り監視	成猫	おおよそH=1300mm～1500mmの塀に滞在。

8. 総合考察・・・6章

CCAを行うことは、猫などの動物に興味を持つきっかけとなるだけでなく、地域内の交流を図ることとなり、これからの猫の新たな飼育方法としてCCAの普及が重要であると考えられる。活動普及のためにも、CCAの広報活動やCCA活動場所における環境整備などの行政支援があることで、CCAが広く普及し、人と猫が住みやすい地域の拡大につながる事が考えられる。

広報活動について

CCAの定期的な活動報告や情報共有を行うことで、CCAに対する理解が促進され、猫への漠然とした嫌悪感の改善や猫に興味を持つ人が増えることが考えられる。

活動者不足について

地域内にいる猫を飼育したくてもできない人々を、CCAへ巻き込むことで改善することが考えられる。

活動場所の環境整備について

地域活動によるCCAでは個人宅が活動場所となっているため、トラブルが起きやすいことが考えられる。猫の行動特性を人が生活しやすい環境を合わせて考察し、猫の居場所を計画することで、人と猫それぞれが生活しやすい環境となる事が考えられる。

9. 結論・・・7章

地域猫活動の実施により、コミュニティや、地域防犯、地域美化などへの活動の広がりが見られ、人々の心身を豊かにし、よりよい地域へと発展することが示唆された。現在の地域活動としての地域猫活動では、猫の居場所が整備されていないことで、人と猫において軋轢が生じ、人同士のトラブルまでに発展していた。給餌活動だけでなく、猫の生活環境を整えることで、猫による被害やトラブルが減り、人にとっても住みやすい地域となる。さらに、地域内でつながりが生まれることで、社会的弱者による多頭飼育崩壊や飼育放棄を未然に防ぎ、親子で地域猫活動へ参加により、地域単位での子育て環境の構築へとつながることも考えられる。猫の存在が、人々に思いやりを育み、動物に優しい地域は人にも優しい地域づくりへとつながり、人と猫が共存できる環境形成の一助となりえる。

10. 今後の展望・・・7章

本研究で得られた、CCAの実態や猫の行動調査にて得られた知見が、猫による被害で困っている地域や猫に関連する研究に少しでも参考となり、人々に役立つことを期待したい。